

## 「寒中見舞いプロジェクト」の誕生から今まで

### ◆「寒中見舞いプロジェクト」誕生

RSY のまごころ支援として行っている「輪っか和っかプロジェクト」に続き、新しい支援として「寒中見舞いプロジェクト」が立ち上がりました。このプロジェクトは、震災から半年の9月10日に行われた宮城県七ヶ浜町での「復興まつり」に参加した名古屋のボランティアが実行委員の中心メンバーとなり立ち上げました。

復興まつり後の「活動後の振り返り+今後の活動についての話し合い」の席上で「名古屋から七ヶ浜の方たちに向けて、2012年の年明けに寒中見舞いを送ろう！」ということになりました。

七ヶ浜の方たちからの「忘れて欲しくない」や「忘れられていると感じている」といった声のほか、現地へ行ったボランティアたちからも「七ヶ浜の方たちに新年を明るく迎えて欲しい」といった声や、「七ヶ浜の人たちの事を忘れていないよ」、「今後も七ヶ浜町と愛知県の方が文通など手紙でのやりとりを通して繋がっていけばいいなあ」という思いもあり、このプロジェクトは始動しました。

### ◆「寒中見舞い」募集

実行委員会による月1回の会議を行いながら話し合いを重ね、「あいち防災フェスタ」や中日新聞への掲載など、イベントやメディアで寒中見舞いのPRをさせて頂いた結果、目標1000通のところを大幅に上回る、なんと2300通もの心のこもった寒中見舞いをお預かりすることが出来ました。

寒中見舞いには、書いていただいた方の住所とお名前を書いていたいただきました。

### ◆寒中見舞いを七ヶ浜の方へ手渡しでお届けしました。

年が明けた1月7、8日の両日、名古屋からのボランティアメンバー総勢21名が七ヶ浜を訪れ、主に応急仮設住宅の住民の方々へ原則手渡しで寒中見舞いをお届けに行ってきました。

お預かりした皆様からの寒中見舞いは、町内で最大規模の仮設住宅団地である第1スポーツ広場をはじめ、七中第2グラウンド、生涯学習センター・社協事務所下、湊浜・謡(うとう)、国際村第2駐車場の全部で7ヶ所と、現地の小学校2校、ボランティアセンター、役場、民間仮設住宅や在宅避難者の方々へ原則手渡しでお渡しをしました。